

小野達也

Contents

- * 小野達也活動報告
- * 静岡県議会報告
- * 委員会報告



有言実行!!みんなとともに

発行：静岡県議会議員 小野達也事務所
 〒414-0002 静岡県伊東市湯川1-6-2
 TEL.0557-36-2089 FAX.0557-36-2080



伊東市学校給食センター
落成式

8月1日

長年の伊東市民の念願でありました「中学校給食」の完全実施に向けて施設整備がすすめられ、落成式を迎えました。



消防団ポンプ車配置式

7月9日・11月20日

伊東市消防団第7分団と6分団で「消防ポンプ自動車入魂式・配置式」が行われました。



伊東温泉
たらい乗り競走

7月3日

伊東温泉の夏の到来をつげる行事。私も約20年前に出場した経験がありますが成績は…。



伊東市防災訓練

9月1日

災害が、いつ、どこに来てもおかしくない昨今、備えこそが最大の防災になることを感じています。



パラリンピック壮行会

8月26日

伊東市出身の杉村英孝選手はリオパラリンピック「ボッチャ」団体競技に出場し、銀メダルを獲得しました。



第70回按針祭式典

8月10日

三浦按針は徳川家康から幕府外交顧問に任命され、日本初の様式帆船を伊東市唐人川河口で建造した英国人です。

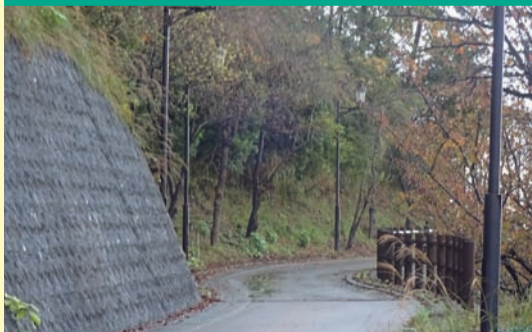
皆さまの声を実現!! 小野がやります!

伊東大川河口工事状況



隣接する三浦按針メモリアルパークと一体活用できる親水護岸の整備です。メモリアルパークからの眺望や上流側の護岸との調和を重視し、護岸に自然石を用いたり、眺望に支障となる転落防止柵の撤去等を行い、景観に配慮した構造・色彩となっています。

熱海高校付近「桜の散策路」状況



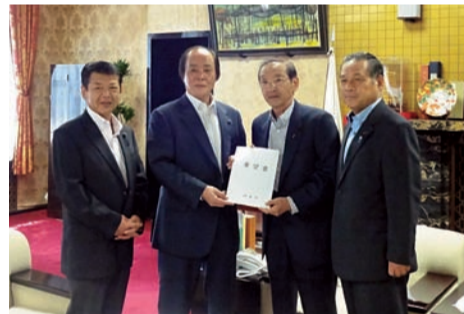
県立熱海高校の付近で整備が進められています「桜の散策路」の状況です。今年度中の出来れば「卒業式」に間に合って欲しいと願っています。この道路が出来れば熱海高校の生徒は伊豆多賀駅から真っすぐに学校へ向かえます。



伊東市技能祭

9月4日

展示品は匠の技が充分に表現されたものが置かれ、子どもたちの体験コーナーはとてにぎわっていました。



伊東市要望書

9月2日

佃市長をはじめ市幹部職員が県庁を訪れ知事をはじめ関係部局を訪問され、要望書を手渡されました。



治山砂防推進協議会
県外視察研修

11月1日・2日

福岡県の砂防堰堤、佐賀県の虹の松原などを視察研修いたしました。静岡県の事業推進に活用してまいります。



静岡県戦争戦没者
秋季慰霊大祭

10月23日

平和を願い、尊い命を賭した御霊に対し、どの様にしてその思いにこたえられるかを真剣に考えたいと思います。



静岡県
水産振興推進協議会

12月12日

今回は「観光産業との連携による水産振興」をテーマに4件の取組みを発表されました。



国際交流フェスタ
3110

12月3日

県議会海外調査団の一員としてオーストラリア・ニュージーランドを訪問した際の話をさせていただきました。

静岡県議会平成28年12月定例会 平成27年度決算議決



12月1日開会の県議会12月定例会において県の平成27年度各決算が承認されました。

今回は決算特別委員会における審査の概要と結果についてご報告いたします。

決算特別委員会は9月定例会において、「平成27年度静岡県一般会計歳入歳出決算」並びに「平成27年度静岡県公債管理特別会計歳入歳出決算」外、特別会計歳入歳出決算12件、及び「平成27年度静岡県工業用水道事業決算」外、公営企業決算3件を付託されており、10月24日から11月4日までの間、4日間にわたって委員会を開催し審査しました。

審査に当たり、まず会計管理者

から決算の概要について、代表監査委員から決算審査意見書についてそれぞれ説明を受けた後、決算審査を円滑かつ効率的に行うため、常任委員会を単位とした分科会を設置し、それぞれ所管する部署の施策の体系や主要事業の成果、予算の執行実績などについて厳正な審査を行っております。

その結果、付託された「平成27年度静岡県一般会計歳入歳出決算」、「平成27年度静岡県公債管理特別会計歳入歳出決算」及び「平成27年度静岡県地域振興整備事業決算」の3件につきましては、賛成多数をもって、そのほかの15件につきましては、全員一致をもって、いずれも認定すべきものと決定いたしました。

なお、その審査過程において、



関連事項について多くの意見が各委員から出されました。

以下では、その主な項目についてご報告いたします。

私は委員として産業分科会に参加し、経済産業部と企業局の所管する決算の審査を行いました。

分科会の審議では雇用・新産業・TPP関係・森林整備・水産振興・農業・漁業学園、企業局では工業用水道・水道事業・地域振興整備・CNF開発支援など様々な事業について意見を述べました。

最初に、**一般会計及び特別会計**に関連した意見です。

*知事直轄組織関係

ICTを活用した広報施策については、広報担当部署とICT担当部署が部局を超えて定期的に連絡を取り、県民のニーズや知りたい情報をきちんと把握した上で、タイムリーな発信に努められたい。

*経営管理部関係

臨時財政対策債は、本来は地方交付税で賄われるべきものであることから、今後も引き続き国に対して見直しや廃止を求めていくべきである。

*政策企画部関係

市町への権限移譲については、移譲した法律数だけにこだわらず、市町が地域に合った施策を展開できるように内容を重視した移譲をすべきである。

*くらし・環境部関係

一般会計歳入歳出決算については、県民生活に直結し、県政の中でも大事な事業を展開しているが、さらに収入未済額と不用額の縮減に向けた努力をし、総合計画の「和」を尊重するくらしの形成の実現に向けた取り組みをされたい。

*文化・観光部関係

富士山静岡空港の収支については、公共施設等運営権制度の導入に向け、参入予定企業に対する意向調査や意見交換を通じて収支の算出方法に対する県の考え方とずれが生じないようにするとともに、引き続き空港収支の改善に努めていくべきである。



*健康福祉部関係

不測の事態に備えるものを除き、予算措置された事業は可能な限り執行するとともに、次々に取り組まなければならない課題に早期に着手すべきである。

*経済産業部関係

森の力再生事業については、目的税を財源として事業を行っているため、事業の実績や評価の結果を県民が見てわかるように、引き続き積極的に事業を展開されたい。

*交通基盤部関係

繰越額の縮減と事業の平準化を推進し、特定の時期に工事が集中することで生じている地域住民等への負担を回避するよう取り組まされたい。



*危機管理部関係

風水害版市町危機管理演習については、台風などの風水害時の人的被害を防止するため、住民への避難勧告等の情報伝達には万全を期すよう、市町と連携して訓練の充実にも努められたい。

*出納局関係

資金運用は県民の財産の運用であり、大変重要な業務であることから、専門的な知識と最新情報を収集するとともに、経済状況を把握し、確実かつ効果的な資金運用に努められたい。

*教育委員会関係

教育奨学金返還金に係る収入未済額については、滞納者である学生や就職して間もない若者の将来も考慮しつつ、民間業者の活用や口座振替制度など様々な角度から細やかな対策を講じ、引き続き縮減に取り組むべきである。

*公安委員会関係

育児短時間勤務職員並立任用制度は、女性警察官の職域拡大に寄与するとともに、子育て支援の観点からも重要な取り組みであることから、柔軟に運用して制度利用者の拡大に努めるべきである。

次に、**公営企業決算**に関連した意見です。

*企業局関係

工業用水道事業については、新規に立地した企業に対するインセンティブの導入など新たな施策を講じ、新規顧客の開拓を強力に進められたい。

*がんセンター局関係

静岡がんセンターにおいては、相談、支援業務を充実させるなど、患者と家族の安心感を一番大事にされたい。



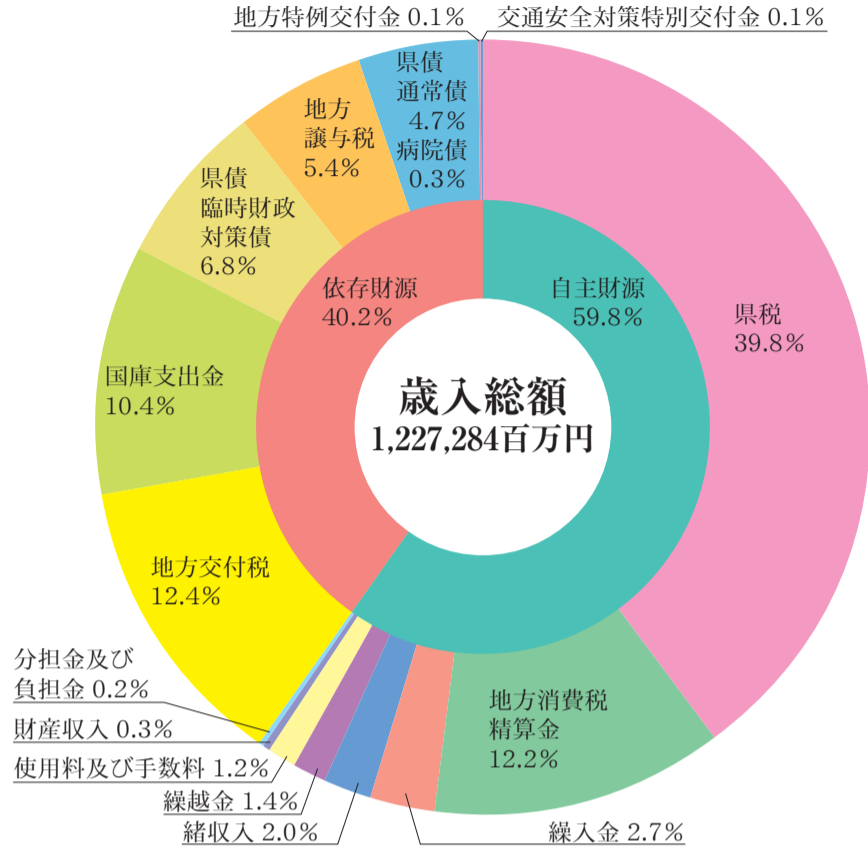
などの意見がありました。

以上が審査の概要ですが、県当局に対し、審査過程で出されたこれらの意見につきまして、今後の事業執行や来年度の予算編成に可能な限り反映されるよう求めてまいります。

平成27年度 一般会計決算のあらまし

歳入 1兆2,272億8,400万円（予算現額に対する収入率97.4%）
 歳出 1兆2,135億8,900万円（執行率96.3%）

一般会計歳入決算構成比



ちょっとだけ用語の解説

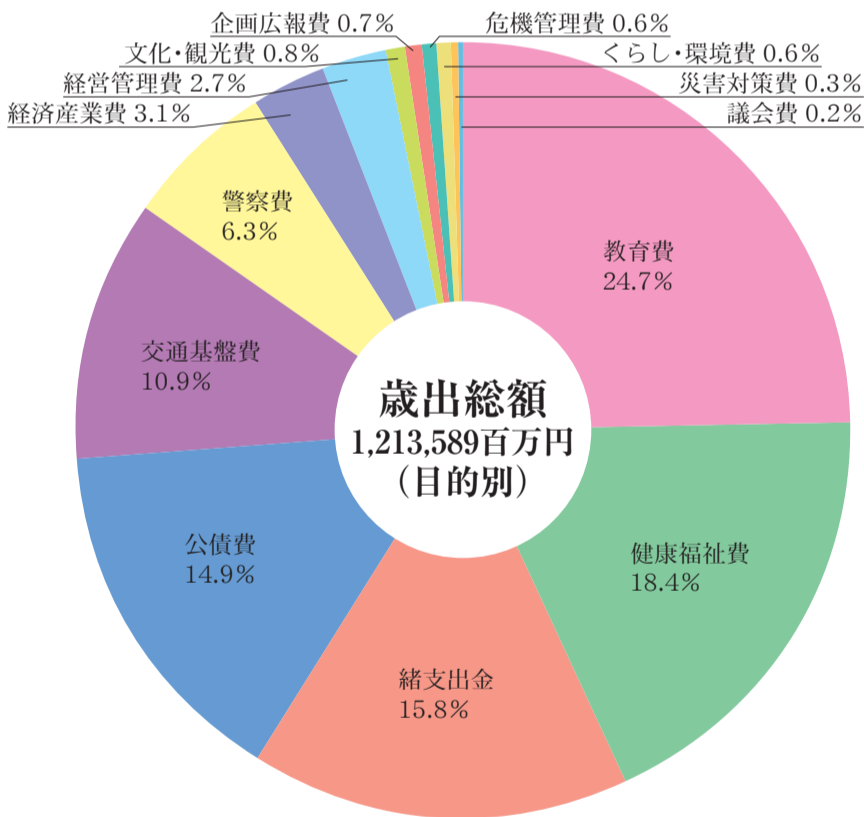
自主財源と依存財源

県の収入には、県が自主的に確保できる収入（県税、地方消費税清算金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入）と、国が定めた額を交付されたり、割り当てられる収入（地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金、県債など）があります。前者を自主財源、後者を依存財源といいますが、地方財政の自主性を発揮するためには、できるだけ自主財源が多い方が望ましいといえます。

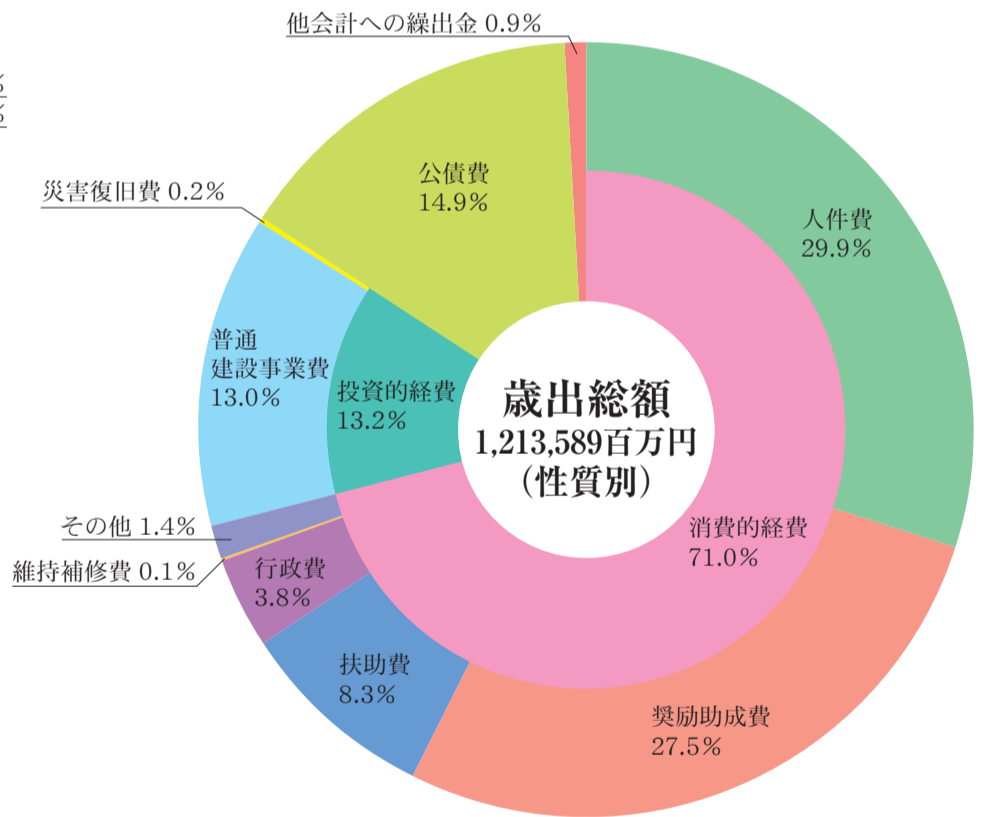
特定財源と一般財源等

歳入の分析では、用途が特定されている財源（分担金及び負担金、使用料及び手数料、国庫支出金、財産収入、寄附金、繰入金、諸収入、県債）を特定財源というのに対し、その用途が特定されずに自由に使える財源（県税、地方消費税清算金、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、臨時財政対策債、減収補填債、交通安全対策特別交付金、繰越金、並びに一般財源扱いとなる分担金及び負担金、使用料及び手数料、国庫支出金、財産収入、寄附金、繰入金、諸収入など）を一般財源等といえます。県の自主的な判断により事業を行うためには、一般財源等が多いことが望ましいといえます。

一般会計歳出決算構成比（目的別）



一般会計歳出決算構成比（性質別）



県民1人当たりの歳入歳出決算額の状況（一般会計決算）

県民1人当たりで計算すると...

歳入 332,794円
 歳出 329,080円

歳入	
県税等	172,958円
地方交付税等	59,729円
県債	39,487円
国庫支出金	34,449円
繰入金	9,177円
諸収入	6,845円
使用料・手数料	3,967円
その他	6,182円
歳入計	332,794円

歳出	
人件費	98,470円
扶助費	27,195円
公債費	49,137円
災害復旧費	864円
行政費	12,384円
維持補修費	349円
奨励助成費	90,364円
普通建設事業費	42,622円
繰出金	3,076円
その他	4,619円
歳出計	329,080円

※静岡県の人口：3,687,821人
 （静岡県人口推計平成28年10月1日現在）

義務的経費

義務的経費以外

県議会・委員会活動報告

今年度、私は静岡県議会において議会運営委員会及び産業委員会に所属しております。

今年度ここまでの県議会での活動の概略を委員会の活動を交え報告いたします。

■5月臨時会

吉川議長・杉山副議長から辞表が提出され、新議長の選挙・新議長選挙などが臨時議会で行われ、議長に鈴木洋佑氏、副議長に藪田宏行氏が選出されました。

また、今年度の委員会構成も新しくなり、私は「産業委員会」「議会運営委員会」に決定しました。

所管が多岐にわたる委員会では政策を実行するものが主になります。県民に直結することが多いので、しっかりと県民の声を届けていきたいと思っております。

■議会運営委員会 6月3日

県議会6月定例会の日程変更を主な議題に開催されました。今年度初めての委員会では、鈴木洋祐議長・藪田宏之副議長も初参加し、11月の決算特別委員会などについても意見が出されました。

参議院議員選挙公示日22日と開会の予定日が重なってしまいましたので、県議会を23日に開会することを決定しました。

■議会運営委員会 6月16日

6月定例会に向け、提出予定の議案などが経営管理部長から報告されました。

参議院議員選挙公示にともない、開会日が1日ずれ込んだため、議員研修会を中止、次以降の定例会で行われることになりました。

■質問レクチャー会議 6月20日

私は6月29日の県議会本会議に

おいて「一般質問」を行う予定となっており、この日は県議会各部署主管にお集まりいただき最終確認の会議を行いました。

■6月定例会

6月定例会が開会となり本会議が開催されました。

県議会会派自民改革会議の議員総会で議会説明がありました。意見書についても話し合い、2つの意見書案を提出する事としました。また、次週から代表質問・一般質問が続きますので、私も質問内容を発表し、会派内での確認をいたしました。

6月29日、一般質問に立ちました。この日は伊豆市の野田議員、熱海市の藤曲議員と私、3人の伊豆半島から選出された議員が質問に立ちました。

私は毎回、観光と道路整備の質問事項を必ず入れて構成しています。ですので今回も伊豆の政策について「伊豆の魅力向上」と題しまして最初に質問いたしました。

さらに、「土砂災害対策の推進」「高く評価される県立静岡がんセンターの医療」「スポーツ人材バンクの構築」「コミュニティ・スクール」とこの5項目に渡り質問をいたしました。(内容につきましては、前回発行の「小野達也県政報告No.15」に掲載いたしました。ホームページでもご覧いただけます。)

知事と土屋副知事から力強い答弁をいただき、あとは県議団が地元市長・町長とスクラムを組んで前進させてまいります。

今回も伊東から多くの方が傍聴に来ていただきました。私の背中

を押していただける、本当にありがたきことです。

■議会運営委員会 7月15日

今後の議事運営等について協議しました。

私からはこの週に行われた委員会でルール違反をされた議員がおりましたので、今後はきちっと時間を決め順守するべきであると発言しました。

今後、代表者会議で正式に決定する事になりました。

■議会運営委員会 9月13日

今回は特に「北朝鮮による核実験に抗議」する「決議」を全員一致で開会日に即決することとし、強く抗議していきます。言うまでもなく核実験を禁止した「国連安保理決議」に違反し、東アジアのみならず国際社会の平和と安全に重大な脅威を与えるもの、断固として容認できません。

都道府県に呼び掛けてまいります。

■9月定例会

9月定例会が開会いたしました。本会議を開き知事から議案が提出され説明があり、以後補正予算などを審議します。

午後からは会派議員総会があり、政調会勉強会なども開催されました。私たち議員が研鑽を重ねていく事は県民の代表としての責任であり、それを広報公聴活動に活かしていく必要もあります。

■産業委員会 10月5日

今回の勉強会では「東静岡駅周辺開発」に関わる大きな事業について、これからの議論を重ねて良いものにしていきたいと思っております。

■産業委員会 10月5日

経済の状況を私なりに分析し、県内でも地域によって大きな違いがある事、企業では規模によって格差があることなど、伊豆半島の状況説明をしながら発言をいたしました。いとう漁協・焼津漁協の

整備に予算がつき、進捗度などについても質問いたしました。

■議会運営委員会 11月24日

12月定例会に向け開催されました。提出予定の議案36件、報告4件と、先ごろ審議いたしました平成27年度一般会計、特別会計及び公営企業決算などの裁決について決定いたしました。

■12月定例会

28年最終の県議会が開会致しました。本会議に議案を上げ、知事から重要な議案について説明がありました。

■産業委員会 12月14日

私は自民改革会議の委員として先陣を切って質問に立ち複数の担当者に答弁をいただきました。県民の生業に活かしていくべき政策の実現に向け尽力していきたいと思っております。

産業委員会視察研修

10月17日～19日

【北海道さっぽろ「食と観光」情報館】

この施設は北海道と札幌市が連携して観光客や札幌市民への観光案内、及び食の魅力の情報発信拠点として整備された施設です。

JR札幌駅構内にあって北海道全域の情報や魅力をワンストップで発信しています。

伊豆半島でもアンテナショップを整備する予定ですので、とても参考になりました。

【苫小牧港管理組合】

北日本最大の港湾「苫小牧港」を管理、外国とのネットワークも幅広い。北海道内の港湾取扱量のおよそ五割を占めて、全国的に見ても、港湾取扱量は第四位となっています。

将来ビジョンの基本目標では、水産分野、防災分野、観光分野を柱として推進されているそうです。

【北海道立総合研究機構】

ここでは北海道の各研究機構を集約化、産業界の研究などを6つの分野別に調査・研究をされています。年間予算は145億円、職員数1100名で開発などをして民間企業などと連携して北海道発展に寄与されています。

写真は機械用のCTスキャンと昆布を天日に干す時の腰痛の軽減をするための補助器具です。実用化され多くの方が喜ばれているそうです。

【農業担い手育成センター】

北海道外からの新規就農者、Uターンなど若手の人材確保など積極的に活動されていました。

【テクノパーク】

IT産業を集積化して地元の企業を中心として36社、2500名の方々が働いています。その中核的な支援施設として「札幌エレクトロニクスセンター」で研修を行いました。



県政・伊東市に対する皆さまのご意見、ご要望をお聞かせください。

静岡県議会議員 **小野達也** 事務所

TEL.0557-36-2089

〒414-0002 静岡県伊東市湯川1-6-2 FAX.0557-36-2080

公式サイト www.ono-tatsuya.com/
E-mail ono-tatsuya@bird.ocn.ne.jp



小野達也

検索

